

いちき串木野市議会議員選挙公報

(この選挙公報は、「公職選挙法第172条の2の規定」及び「いちき串木野市議会議員及びいちき串木野市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例」により、候補者から提出された原文のまま掲載したものであります。なお、掲載の順序は、くじによって決められたものです。)

西田のりとも

無可屬。一其

50歲

令和7年11月9日執行

いちき串木野市議会議員選挙公報

いちき串木野市選挙管理委員会

(この選挙公報は、「公職選挙法第172条の2の規定」及び「いちき串木野市議会議員及びいちき串木野市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例」により、候補者から提出された原文のまま掲載したものであります。なお、掲載の順序は、くじによって決められたものです。)

きばっど!

- ◎子育て・教育環境の整備
- ◎高齢者・障害者の支援の充実
- ◎郷土芸能を活かした青少年育成
- ◎若者が定住できる住環境支援
- ◎薩摩藩英国留学生記念館を活かした観光ネットワークの充実

元気とやる気でまっさきに行動



まつさき幹夫 (65歳)

◆川内商工高校(昭和五十四年卒)
◆現いちき串木野市議会議員(三期)

■これまでの主な実績

書かない窓口導入
免許証やマイナンバーカードで必要書類を簡素化

ワクチン予防
子宮頸がんや
帯状ぼうしん
ワクチンの助成を進めました

子育て

- ・新生児の聴覚検査、3歳児健診で目の屈折検査機器の導入で異常を早期発見
- ・小中学校トイレの洋式化を推進

目指します!

- ・住み続けたい いちき串木野市へ
- ・もっと安心・安全な いちき串木野市へ
- 公明党は進めます
- ・政府系ファンドを創設し、政策を実現するための「財源をつくります」
- ・予防医療で健康寿命を伸ばします



江口よしこ



Instagram
公明党

答えは現場にある 市民と地域に寄りそう市政

☆よしどめ 良三〜5つの決意〜

- ◎子育て支援、生活困窮者などの暮らしを守る
- ◎通院や買い物「難民」をなくし、高齢者などに安心を
- ◎地域循環型経済で地域を元気に
地消・地産を推進・「地元産愛用運動」を
- ◎防災・減災で災害に強い安心のまち
- ◎脱原発、共生・協働の笑顔あふれるまちづくり

将来を見通せない不安な格差社会
生活の場、地域の現状から
暮らしと地域を取り戻すため
全力投球

プロフィール
◆1950(昭和25)年9月熊本市生まれ。◆生協中・生協中・串木野高校卒。
◆現いちき串木野市(現いちき串木野市)下道工務所勤務。
◆鹿児島県庁(現鹿児島県庁)で39年間地方自治を経験。
◆1987(昭和62)年、串木野市(現いちき串木野市)を設立。以来40年連続で市議会議員を務める。
◆2011年に立ち上げた「いちき串木野市脱原発推進協議会」を設立。
◆2017年10月、いちき串木野市議会議員に立候補(現任2期目)。



よしどめ良三 (74歳)

社会民主党公認



たけのうち 勉 (66歳)

現いちき串木野市議会議員

地域の即戦力

みなさまと行政のパイプ役として
全力投球してまいります

- 行政と市民をつなぐ架け橋に
38年の行政マンとして培ってきた経験を生かして、現場第一で対応します
- 空き家対策と環境美化を推進
空き家・空地対策、道路公園等の環境美化に努めます
- 誰もが住み続けたいまちづくり
少子高齢化の今だからこそ、誰もが住み続けたいと思える街づくりに努めます
- 地場産業のブランド力強化
既存ブランドを守るため、後継者を育成し、その価値の維持向上に努めます。



福山 しゅうじろう

本市の最大の課題は、人口増対策と財政再建である。
本市の市債(借金)は165億円である。
全てのものを切り詰めて返済していかなければなりません。
市の人口の3分の1近くが非課税世帯であるので、元気な市民が頑張って納税をしていかなければなりません。
今後は議員数も大幅に減らす必要がございます。
小中学校においても不登校生がたくさんおりますので教育費の予算を大幅に増やす必要がございます。
議員の政務調査費も廃止するべきだと思っております。
わたくしは9期議員をしておりますが1回も受け取ったことはございません。
子育ての予算などを大幅にとり、子育てしやすい社会をつくるべきだと思っております。
人口増対策も、EターンUターン者の予算も増やすべきだと思っております



原口 まさとし

投票日 11月9日

午前7時～午後6時

この選挙公報をよく読んで、自分の考えで一票を投じましょう。
投票用紙には、候補者一人の氏名だけをはっきり書きましょう。



無所属 脱原発
高木 しょうじ (74歳)



安心して楽しく暮らせる地域に

■出て行かない使用済み核燃料
乾式貯蔵施設 反対
老朽川内原発は早く廃炉に

■有機農業と学校給食に
有機食材使用 拡大を
プリマハム跡地活用
図書館と映画館 検討を

■いちき串木野市は、原発より洋上風力
岸から5キロ以上遠い「浮体式」も検討を

●市議会は2017年、左記の意見書を知事へ提出。
「原発40年運転期間を守るとともに再生可能エネルギーの導入加速を求める意見書」1、原発の運転期間を原則40年を定めること。
2、再生可能エネルギーの導入加速化と普及促進を積極的に取り組み、技術開発を進めること。